

# 企画運営委員会委員の報告と懇談のつどい

## 【概要】

実施日 3月15日（土）午前10時～正午

会場 住吉会館ルピナス2階 研修室

進行内容

- 1 協働コミュニティ課から
- 2 企画運営委員会委員紹介
- 3 本日の趣旨及び平成25年度の事業について
- 4 各事業報告について



## 【ご意見・ご要望】

- ◆ ワークライフバランスの講座を継続して欲しい。
- ◆ エンディングノートは、お墓関係に詳しい方らしいセミナーだった。ただ、必ずしも、エンディングノート全般の総合的なセミナーではなかった。
- ◆ 自立支援講座について、分かりやすい、難しいという両方の意見がある。マッチングの難しさがある。
- ◆ パリテの講座の情報が目につかない。外に打って出ること必要ではないか？
- ◆ 全体で、400名くらいの参加者ではもったいないのかもしれない。
- ◆ 男女平等参画に関する西東京市民意識・実態調査報告書（平成25年3月）記載の法律の認知度。全く知らない、7割から8割にもものぼる。告知不足ではないか？
- ◆ 男女平等参画に関する西東京市民意識・実態調査報告書（平成25年3月）の中に平成19年調査との比較がある、結婚、家庭についての考えが保守化しすぎていないか？パリテ以外の場所でも行き、意識改革を進めていく必要があるのではないか？
- ◆ 民生委員の話では、今、介護虐待が問題となっている。独身男性の母親への虐待が多いようだ。
- ◆ 男性向けの講座は、若い男性向けの講座が多い。ワークライフバランス、ジェンダーなどの意識向上に取り組み、年配の男性を取り込んで欲しい。
- ◆ 地理的に不便なところはある。どうやって来てもらうのか、考える必要がある。いかにみんなが集まれる中身をどう検討して、普及させていくか、課題なのではないか。
- ◆ 普及活動が目に見えるところであったらいいのかもしれない。広報活動が重要ではないか。
- ◆ 介護、障害者の点から、関わる事が多い。男性が少ない。いっしょになって、活動していかないといけないのではないか。
- ◆ DVの問題で相談に来られる方は、まだいい方かもしれない。（深刻な場合は相談にさえ来られないのではないか？）
- ◆ 男女平等の推進に逆行している統計が有る。男女平等ということが市民に理解されていない。
- ◆ DVをテーマになにか、企画ができるといい。
- ◆ ホームページをもっと活用してもいいのではないか。
- ◆ 男女平等について、必要に迫られ、運動してきた。自立に目覚めた。
- ◆ 安易な考えをもっているのではないか。しっかり、男女平等とはどういう事か、考えていかないといけない。

## 【企画運営委員から】

- 3名の男性参加者があり貴重なパリテの事業へのご意見やご要望が伺えました。今後はさらに、男性たちへの積極的なアプローチを心がけ、参加しやすい魅力ある内容の事業を展開したいと思いました。
- 一年間の企画事業に参加された方のご感想をいただきました。その中にタイトルと内容の違和感やチラシの期待感で参加された時の満足感や物足りなさなどの指摘がありました。
- 多くの市民の方々にお知らせが届くよう、関心を持っていただける広報の仕方に工夫が必要だと思いました。また事業を継続することで、男女平等推進センター パリテを知っていただくことに繋がるとのご意見もいただき、これからの励みにもなりました。
- 講座の内容は、告知、広報の内容について、いろいろな意見を聞くことができ、参考になりました。自分だけの感覚ではなく、いろいろな方のご意見を取り込んで、パリテを市民の居場所として定着するよう盛り上げていきたいと思いました。

